

頸城区 40号 2021・3

地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

地域活動支援事業のお知らせ

地域活動支援事業は、市が地域の課題解決や活力向上に向け住民の自発的・主体的な地域活動に対して補助金を交付するものです。事業の提案者は5人以上で構成する団体等で、補助金交付額は頸城区では原則補助率100%、上限なし、下限は5万円です。事業提案の採択は地域協議会の審査によって決定されます。

○採択する事業

頸城区における豊かな地域資源を活かし、地域住民が自らの取り組みにより、住み続けたいまちづくりを進める事業で、頸城区の地域活動支援事業を活用し、地域住民が自主的、主体的に取り組む事業とします。

○提案（応募）することができる事業の例（あくまでも1例です。）

地域特性を活かしたまちづくり
●歴史遺産を活かしたまちづくり事業 ●特産品等を活かした活性化事業 ●まちづくり計画の策定事業 ●観光ボランティア育成事業 ●観光ガイドブック作成・配布事業 ●耕作放棄地復元モデル事業 ●空き店舗活用事業 など
安全安心なまちづくり
●自主防災訓練等の事業 ●防犯マップの作成・配布事業 ●安全・安心講演会事業 など
景観形成・生活環境の向上
●自然公園・里山の環境整備・保全事業 ●河川・湖沼の周辺美化・水質保全事業 など
健康・福祉の充実
●健康講座・健康ウォーク等の事業 ●高齢者世帯の見守り活動事業 ●子育て支援事業 など
教育・文化・スポーツ活動の振興
●青少年育成事業 ●文化（生涯学習）振興事業 ●スポーツ（生涯スポーツ）振興事業 ●郷土史学習事業 ●伝統文化・技能の保存・伝承事業 など
その他
●上記のほか地域活動支援事業の目的に合致する事業

地域活動支援事業募集のお知らせ

令和3年度頸城区地域活動支援事業の提案募集を4月1日(木)～4月20日(火)の間に行う予定です。

事前相談を受け付けておりますので、事業提案を予定されている方はご連絡ください。

(担当：総務・地域振興グループ)



地域活動支援事業を
活用した事例紹介

外国人との新たな共生まちづくり事業

上吉町内会会長

渡邊 吉造



カンボジアの方に国勢調査の
記入方法について説明

地域活動支援事業で採択された「プロジェクトスクリーン」で令和2年9月と10月に外国人（カンボジア・フィリピン）の方々に国勢調査への参加説明会と消火器による初期消火訓練・DVDに



フィリピンの方と初期消火訓練

よる防災映画会を実施しました。各活動に参加された外国人の皆さんからは、「初めての経験だったけど、理解が出来て、大変勉強になりました」との感想を頂きました。外国人との会話、コミュニケーション作りは、日本語による会話、懇親会、IT機器を用いた説明会等が有効であると確信しました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症が、終息の方向に向かえば「納涼会、防災訓練、やさしい日本語による交流会」を近隣町内会、行政担当課、企業担当者と共に話し合いを進め、外国人との共生まちづくりを進めたいと思っています。

副読本「頸城鉄道物語 コツペル
じいさんのひとりごと」制作 事業

読み聞かせサークル

ワンダーランド代表

大越 さとみ

頸城区には、かつて軽便鉄道が走っていました。その名のとおり、手軽で便利な軽便鉄道は住民に愛されていました。大正3年から昭和46年にかけてのことです。今、くびきのお宝のこす会のみですが、その手助けができないかと作ったのが、紙芝居頸城鉄道物語「コツペルじいさんのひとりごと」でした。

この中には物語の他に付録として資料も収められています。紙芝居の上演を重ねるにつれ、この部分の活用ができないことを残念に思っていました。何とかしたいと考え、思い付いたのが副読本の制作でした。

既存の紙芝居を使うので簡単にできると踏んでいたのですが、紙芝居は文字を入れることを想定した構図になっていない、本にすると中心の絵が隠れてしまふなど、紙芝居ならではの不具合が見つかり、思った以上に編集に時間を要しました。

申請は50冊だったのですが、差額は自



完成した副読本

己負担することにし、百冊を制作することにしました。これにより、授業で活用してもらうのに十分な冊数を区内の各小学校に寄贈することができました。

市立図書館に寄贈した際には、クオリティの高さと郷土資料としての価値を評価していただきました。また、メディアに取り上げられたこともあり、県内各地の図書館や読み聞かせ団体から問い合わせをいただき、新潟市や下越地方にも配本することができました。

私達は今後もあらゆる機会を通しこの本を紹介していくつもりです。みなさんも是非一度図書館で借りて読んでみてください。よろしくお願ひします。

地域協議会委員と地域の団体等との
意見交換会
10月20日開催

地域協議会での議論に生かすため、30近くの地域活動団体からご出席頂きました。主なご意見は次の通りです。

【頸城区の地域課題について】

少子高齢化に伴う諸問題、地域コミュニティが希薄になった、交流の活性化が図れない、各団体との交流・協力関係の構築が必要、若い人がいない、人手不足、人材育成の必要性、財源が無い、買物弱者、公共交通機関の充実、施設の有効活用、儲かる観光、社会活動への貢献・参画意識の醸成、効果的な情報の発信

【地域活動支援事業の在り方について】

特定の大きな団体が継続的に採用されている傾向、ユニフォームなどの物品購入等に関する案件採用の可否、より地域振興を意識した提案、新規委員の研修の充実、採点基準等の適宜の見直しが必要

皆様から頂いたご意見は今後の地域協議会で検討させていただきます。多数の参加ありがとうございます。

【地域協議会委員 佐野 喜治】



地域の団体等との意見交換会

頸北地区地域協議会委員合同研修会

10月24日開催

今年度の合同研修会は、吉川体育館を会場に行われました。

研修は、上越保健所山崎所長から「地域医療構想と地域包括ケア」上越・頸北地域を考える、新潟県立柿崎病院後援会榎井会長から「地域作りの中での柿崎病院後援会」と題して講話を拝聴しました。その後、各地域協議会から活動報告を行い、頸城区の状況については、上村副会長から「地域を元気にするために必要な提案事業」として大池・小池の観光資源としての利活用の取組について発表しました。

令和2年度の活動を振り返って

委員3人から意見・感想を寄せていただきました

今年度は、前例のない未曾有の事態により経済活動や社会活動が制限され、これにより生活も脅かされる事態にまで発展したことは想像できなかった。新しい生活様式の模索や実践と行動で、できることを一つ一つ整えながら元の日常に復元することが今後の急務と考えます。

思うような活動ができなかった思いを次年度の地域活動につなげる原動力に変換し、地域の地力として盛り上げ、コロナ過から再生することを念頭に次年度も活動したいと考えます。

【地域協議会委員 滝本 篤透】

新型コロナウイルス感染症拡大のなか、第5期目の地域協議会がスタート。地域活動支援事業の審査に始まり、区内諸問題の協議を重ねてまいりました。少子高齢化・人口減少・公共交通・地域活性化等は、待ったなしの問題で、前を見据え活動を継続していきます。大池・小池利活用も、コロナ禍のなか厳しい幕開けとなりましたが、数多くの皆様の参画をお願いします。また、今冬は稀にみる大雪に見舞われ、個の無力を痛感された方も多くおられたのではないかと思います。自助・共助・公助、今一度基本に立ち回り見つめ直す機会ではないでしょうか。

【地域協議会委員 西巻 肇】

今年度、新型コロナウイルスが日本国内で猛威を振り始めた4月から地域協議会委員2期目がスタートした。まさに波乱の船出である。密を避ける為に会議すら出来ない状況の中、時期を同じくして地域活動支援事業の募集が始まった。応募された団体の方々も大変頭を悩ませて申請された事と思われる。また、申請の殆んどが人が集まる活動であるため、予定していた事業も中止や変更を余儀無くされた団体もおられた様に聞き及んでいる。まるで映画の出来事の様な本年度だったが、ワクチン接種が始まるので、令和3年度は前向きに頸城区を活気づける様な活動提案を奮って応募される事をお願いしたい。

【地域協議会委員 船木 貴幸】

地域協議会のうごき

<協議会開催の経過>

- 10月28日 第7回地域協議会
 - ・上越市頸城明治野球場の廃止について
 - ・新潟県南部産業団地の現状について
- 10月20日 地域協議会委員と地域の団体等との意見交換会
 - ・頸城区の地域課題について
 - ・地域活動支援事業の在り方について
- 11月30日 第8回地域協議会
 - ・第2次総合公共交通計画における頸城区の状況について
 - ・ユートピアくびき希望館浴室の在り方について
 - ・上越市頸城明治野球場の廃止について（答申・通知）
 - ・冬期道路交通確保除雪計画について
- 12月21日 第1回総務・地域振興部会、教育・福祉部会
 - ・自主的審議の流れや前期での審議等の状況について、各部会に分かれ意見交換
- 2月2日 第9回地域協議会
 - ・令和3年度頸城区地域活動支援事業の採択方針について
 - ・地域協議会活動報告会の開催について
 - ・新潟県南部産業団地の現状について
- 3月5日 地域活動支援事業報告会（於 ユートピアくびき希望館）
 - ・令和3年度地域活動支援事業の概要について
 - ・令和2年度地域活動支援事業活動内容発表（13団体14申請）
- 3月24日 第10回地域協議会（予定）

地域協議会 井部会長逝去



当地域協議会の井部辰男会長が、令和3年2月27日にお亡くなりになりました。

井部会長は、平成24年4月29日に初めて地域協議会委員となり、昨年の改選を経て4月29日からの3期目の任期途中での訃報となりました。

地域の活力を生み出すために地域協議会での議論をリードし、観光協会の設立や大池・小池の利活用といった市への提案をまとめるなど、地域を元気にすることに心を尽くされました。

謹んでお悔やみ申し上げます。



第9回頸城区地域協議会
（令和3年2月2日開催）

編集後記

令和2年後半になっても新型コロナウイルスの感染症拡大が収まらず、主要都道府県では2度目の緊急事態が宣言され、経済活動に大きな影響を与えています。ワクチン接種によるコロナウイルスの早期抑制が望まれるところです。

また、今年の冬は35年ぶりの大雪に見舞われ頸城区総合事務所でも1月11日に250cmの積雪がありました。記録的な大雪で除雪作業が追い付かず交通に大きな影響が出ました。総合事務所にも220件の苦情・問合せがあり、地域協議会でも話題となり、地域の意見を取りまとめ市政に伝えるよう進めています。

今年度、地域協議会では、地域課題の解決を進めるために総務・地域振興部会と教育・福祉部会を設置して地域課題の把握・調査を進めています。また、頸北地区の合同研修会にも積極的に参加を行い、共通の課題について意見交換を行い課題解決につなげています。

これからも、皆様と共に地域課題に向き合い、その解決に向けた取り組みを進めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

（新保）